

ドクトル伊田の はらほどに・・

三焦点自然視覚レンズとは

白内障手術の際に
決断すべきこと。

No.68

加齢による白内障は40歳から始まり、60歳以上で80%、80歳ではほぼ100%の人が発症します。長生きが当たり前となつた今、中高年にどう白内障手術は避けて通れないライフイベントとなりました。

レンズには単焦点レンズと多焦点レンズがありますが、単焦点レンズにはピントが一か所しかなく

術後の見え方は、遠くか近くのどちらかを見る時にメガネが必要です。これ遠くと近くのピントがそれ確保できるので、ゴルフや車の運転でサングラスをかけるようになつた、メガネが合わない、

レンズは三焦点自然視覚

内障は老眼の症状、一眼に見えます。このレンズを使つた白内障手術で、遠視、近視、乱視、老視をすべて矯正できます。

内障手術しかありません。手術で使用する眼内

は、滲んでやや見にくくなる欠点がありました。しかし、これらの欠点は随分改良されています。

進化した最新の多焦点

レンズと呼ばれ、遠方、中間、近方に無理なく光を配分し、視神経や網膜に病気がなければ、ナチュラルによく見えます。

ただ、多焦点レンズは目に入つてくる光を遠方と近方に分けるので、光の回析現象によって見え

白内障手術を受ける時は是非とも考慮していた

症状の根本的な解決は白内障手術しかありません。する、光の散乱現象により瞳孔が大きくなる夜間

(院長・伊田宣史)



伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30	○	○	○	○	○	○	
12:30							
15:30	○	手術	○	/	○	/	
18:00							

- 眼科一般
- 日帰り手術
- コンタクトレンズ取り扱い

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズIIビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

